

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	令和4年 1月 10日
団 体 名	常和区		
事 業 名	常和を元気にする復興まちづくり事業		
対象経費	541,461 円	支援金交付 対 象 経 費	541,461 円
支援金額	81,000 円		

事業の 目的・ 内容	目的 ・台風19号により大きな被害を受けた当地域では、再度災害を防止するためソフト・ハードが連携した防災対策が必要である。 ・地域住民が主体となって安心・安全な地域づくりを進める必要があり、ソフト対策として避難体制の強化など地域防災力向上のための様々な取組を行う。
	内容 1 広報・災害伝承活動（復興まちづくりだよりの発行） 紙ベースの情報を全戸配布し、区内での情報共有と事業の円滑な促進を図る。 2 避難体制の強化（防災リーダーの育成、簡易雨量計の設置） 防災士の資格取得支援、簡易雨量計を配置する。 3 復興拠点の整備（区民協働による交流の活発化） 区民協働で被災箇所周辺の整備を行い、住民相互の交流を活発化させる。

事業の 活動 実績	1 広報・災害伝承活動 広報活動として「復興まちづくりだより」を6回発行 災害伝承活動として被災者の体験談や現在の復旧工事写真を継続的に収集 2 避難体制の強化 ①防災リーダーの育成 ・防災士の資格取得者0名（コロナ禍により講習会中止） ②簡易雨量計の設置 ・今年度5基設置し、区内に全10基設置完了 ③自主防災活動 ・自主防災組織消防団との連携により防災マニュアルを作成した。 3 復興拠点の整備 延べ300名以上の区民の参加を得て、つつじ公園・サクラソウ群生地（整備・植樹・移植など）を行った。
-----------------	--

まちづくりだより



防災活動マニュアル



復興大根収穫祭



事業の成果・効果	【総括】 令和2年度に引き続き災害、防災、公園環境の3つのチームごとに、多くの区民の協力を得ながら活動を展開できた。 コロナ禍で多人数を集めた会合やイベントは難しい状況だったが、感染対策を十分に行いながら、実施可能な事業を進めることができた。
	【個別事業】 1 広報・災害伝承活動 「復興まちづくりだより」の配布により、災害復旧事業の進捗状況などタイムリーな情報を区民・関係機関に提供することができた。マスコミ等にも取り上げられ、地域外にも情報発信することができた。 2 避難体制の強化 ①防災リーダーの育成 ・防災士の講習会が開催されず目標達成できなかった。 ②簡易雨量計の設置 ・5基の設置を行い、全10基による情報収集体制が整った。 ③自主防災活動 ・自主防災組織内での防災士の位置付けなど各団体の役割分担を明確にすることができた。 3 復興拠点の整備 つつじ公園・サクラソウ群生地整備（整地・植樹・移植など）に多くの区民の参加を得ることができ、次年度以降の事業展開に一步を踏み出すことができた。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 コロナ禍により一部事業については活動を縮小せざるを得なかったが、情報発信や屋外での活動などについては、多くの人々の協力のもと事業実施できた。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 「常和を元気にする」が最大の目標であるが、復興拠点の整備などについては、約900名以上の参加者を得て活動を展開できた。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） コロナ禍の影響により以下の事業については、取り止めまたは縮小した。 ・防災リーダーの育成（講習会の開催中止） ・復興拠点の整備作業、環境勉強会の実施回数などの縮小
	その他、評価すべき点等	復興拠点の整備をきっかけとして、白山神社西エリアの耕作放棄地を活用したヒマワリ畑づくりなど新たな事業展開が始まった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	・本事業は、県・市の行う災害復旧工事と並行しながら様々な事業を進めるものであり、令和4年度も継続して取り組んでいきたい。 上記1～3の個別事業について、3つのチームごとに区民及び行政機関との協力を得ながら進め、特に防災・減災関係の取組みについては消防団と連携しながらより実効性の高い活動にしたい。 ・災害伝承は非常に重要な取組みであり、災害発生時から復興までの記録を次世代に残すため「復興誌」の作成（令和5年度予定）に取り組みたい。
---------	---

常和復興

まちづくりだより

令和3年4月30日
Vol. 7

編集発行／常和復興まちづくり協議会
【発行責任者】鈴木 双一郎

長野県 地域発元気づくり支援金事業
佐久市 まちづくり活動支援金事業

災害は
忘れる間もなくやって来る！！

物理学者の寺田寅彦は「天災は忘れた頃にやって来る。」という有名な言葉を残しています。
災害への備えを怠ることへの戒めの言葉ですが、地震、台風、火山噴火・・・など大規模な災害が次々と日本列島を襲ってくる時代がやって来ようとは寺田も予想できなかったでしょう。
「まさか一昨年のような台風は、すぐには来ないだろう・・・。」そう思っている人は少なからずいるのではないのでしょうか。平時からの備えを区民全員がしっかりと行いましょう。



令和元年19号台風時の区民の共助精神の高さに感銘し、この精神を尊重し、より住みやすい区にしようと発足した「常和復興まちづくり協議会」。

コロナ禍で会議等が自粛される中でも、防災、環境整備等の活動を行うことができ、ご協力いただいた区民の皆様へ深く感謝申し上げます。

まだ1年の活動で試行錯誤の状態ですが、反省として、周知不足でした。回覧板、「まちづくりだより」だけではなく、放送でも早い時期から「何をするか。協力して欲しい事は何か」の呼びかけが不足していました。

また災害の大きかった南中心の環境整備に重点が置かれ、北の整備検討や、コロナ禍で外出を控える高齢者の健康面のサポートの必要性にも案が浮かばなかったことがあげられます。

これらを踏まえ、今年度は白山神社周辺の調査と、整備の計画を立て、市の緑化事業を活用し花木を市から配布を受けるなどして、活動を充実していく予定です。

「こんなことはどうだ。こんなサークルを立ち上げては？」等の意見、要望を出していたが、5年と言わず継続可能な活動にしていきたいので皆様のご協力、ご参加をお願いします。

常和復興まちづくり協議会会長
(代表区長) 鈴木 双一郎

今年度の「常和復興まちづくりだより」では、台風19号の際、災害にあわれた皆さんの声をお届けいたします。災害はいつ起きるか分かりません。

ここで話してくださる皆さんの声が何かの時に、常和地区の住民皆さんのヒントや力になることを願います。担当者が地区の皆さんの体験をお伺いに来いますので、是非ご協力ください。 よろしく願いいたします。

初回は、かんしゃの橋の近くにお住いの 高橋秀子さん の語ります。

体験談

「見なくて、よかった」

高橋 秀子

家にいたら四時少し過ぎた頃、公民館長さん達が「ここに居ちゃダメだよ！もう直ぐ決壊するよ！避難しな！！」と言って来てくれて、そのあと娘婿が来てくれて「お母さん今度の台風は今までと違うみたいだから気を付けて」と懐中電灯とカップラーメンを持ってきてくれた。（娘婿が）帰って間もなく「避難してくれ」と言われて前のお宅に避難させてもらいお世話になった。多分五時頃かな。

家に水が入って来たのは避難していたから見なかったの。見なくてよかった。

向こう（川の方向）に出てはいけないうて言われていたから、庭先から前のお宅に行き、「早く上がりな」と光夫さんが言ってくれ上がらせてもらい一晩眠れないけど、炬燵で好枝ちゃんと「すごい雨だね」と話しをしながらいて、それでも少し眠ったかな。

朝の3時半になったから「あまり早くて悪いけどわたし家に行ってみるわ」と家に戻ってきた。

そしたらもう、量が・・・。その時はもう水が引けていて水は無かったの。

ただ「はな泥」※がもうベッタリで家には上がれなかったの。それこそもう全部。部分的に違うけど測ってきたら床上17cmくらいに跡がついていた。居間より台所の方が水の跡は高い位置についていた。居間も場所によって濡れ方が違った。どういように水が入って来たのかね。見なくてよかった。もう見なかっただけでも幸いだったかな。

20年前の時は床下で、その時は水を見ていて、もう凄くて、はぁどうしよう？どうしよう？と思い、お父さんは区長で公民館に詰めていたから電話したら「そんなうちのことは事はいい！こっちが先だ」と言われちゃって。

水はダーて入ってくるからね。水はホント怖いからね。

もうこの辺は大丈夫だって思っていたからね。その時は怖いと思ってても時間が経つと忘れちゃう。何十年に一度って言われているけど、（この最近の異常気象なら）毎年こういう雨が来てもおかしくない。だからこの村が完全になる前にまた来るんじゃない？水は怖いからね。ほんと水は怖いからね。

※「はな泥」・・・水が引いた後のドロツとした乾くと細かい粉のような泥

改良復旧工事が進む田子川
(伝々橋上流11班付近)



「佐久市常和復興まちづくり協議会」の Facebookページが立ち上がりました

復興まちづくり協議会の活動を通して、季節ごとの常和の自然や日々の人のくらしを、リアルタイムに全国に届けます。4月19日に立ち上げたばかりで、まだ認知が進みませんが、ぜひ皆さんのアクセスをお願いいたします。

[写真]タブからは「常和の見どころ」「常和の自然(植物)」「2019年東日本台風被害」「復興に向けて」などのフォトアルバムにもアクセスできます。また[詳しくはこちら]ボタンから、このまちづくりだよりのバックナンバーを閲覧できます。

画像や動画をご提供いただける方、Facebookで関連記事の投稿をいただける方、まちづくり協議会事務局までご一報下さい。



スマートフォンでFacebookをご利用の方は、以下のQRコードを読み取ってアクセス可能です。



公園環境チームからのお知らせ

4/17

小雨の中、山田神社及びつつじ園周辺に佐久市から支給された桜やモミジ、つつじなど130本の緑化木の植樹をしました。数年後には、きれいな桜並木が見られると思います。



2019台風19号被災状況



4/17 右岸他に緑化木の植樹

4/25

サクラソウ群生地の草刈りをサクラソウ保存会、区長、公民館長、まち協役員で行いました。昨年、移植した場所にも株が定着するなど大分増えて来ましたが、台風19号で流された所は、数年は様子を見て行く事としました。



5/16

《つつじ祭り》を計画しています。コロナ禍の中ですが、防災チームと協力した形でのイベントを計画。詳細については、環境勉強会も含め、別途ご連絡致します。



順調に育っているレタス

4/25現在



つつじ園の中のサクラソウ

事務局から

新たな編集スタッフも加わって、いろいろな情報を定期的にお届けしていきたいと思っています。今年度から新たに以下のような取り組みも始めました。皆様のご協力をお願いいたします。

- ◆災害を忘れないために皆さまの声(体験談など)をまとめていきたいと思っています。
- ◆Facebookページを立ち上げて、まちづくり協議会の活動を発信していきます。

まちづくり協議会事務局 鈴木 正則 (090-4741-3755)
水間 武樹 (090-7702-9571)

常和復興

まちづくりだより

令和3年6月13日
Vol. 8

編集発行／常和復興まちづくり協議会
【発行責任者】鈴木双一郎

facebookはコチラ



今年も綺麗に咲きました！



山田ツツジ園



サクラソウ群生地

「感激した!!」見事に咲くツツジを眺めた瞬間の第一声、声に勢いはあるがお世辞にも若くは見えないその方は、足が悪いという奥さんと友人の三人で私に近寄り満面の笑顔で言ってくれました。

「私は今日、千曲市から来ました。生まれは志賀だから、佐久の事は良く知っています。若い頃は田口の五稜郭へ何度も遊びに行ったもんです。でも、この常和という村は知らなかった。今日来てみたら、田口へ行く道から見えるのに知らなかった。志賀から千曲市に移って50年になります。先日、新聞のツツジ園の記事を見て、花が好きな女房が『佐久だから観に行きたい』と言うので、じゃあ連れて行くかと思ったけど、常和がどこだか分からない。市役所で聞いて初めて来た村の山すそに、こんな見事なツツジ園があるなんて感激すると同時に驚いた。台風からの復興のシンボルってあったけど、地区のみんなで作って良いことで感心した。まだまだ拡がるなら地区の人みんなで作らなきゃ大変でしょ？まとまりがある村でなきゃ出来ないことすな。いやあ～見事なツツジと地区の方々に感心だよ。こんなにいい場所をもっと世間に広めるのがいいよ。今日は千曲市から来た甲斐があった。来年来ればまた拡がっているそうだよ。じゃあ、また来年も楽しみに来るわ。」

天気にも恵まれた週末、本当に多くの方が山田ツツジ園に来てくれました。多くの皆さんが口々に「素晴らしい」「綺麗で見事」「初めて常和に来たが、来て良かった」「台風被害の跡がまだ残っていて、驚くと同時に復興に向けて、地区の皆さんがまとまって素晴らしいと思った」など多くの感想をいただきました。

常和に住んでいる私達は、毎年5月に花開くツツジやサクラソウを見に行き、それで終わってしまいがちですが、地区に咲く様々な花遣や鳥のさえずり、自然の営みは私たちに美しさと癒しと、私たちが当たり前に感じて気が付かない何かを教えてくれているのではないかと思います。

常和地区みんなの思いを込めて多くの花を咲かせましょう!!

今回の体験談は、当時の北区長の春日幸彦さんです。
刻一刻と変わる生々しい状況を語っていただきました。

令和元年台風19号を振り返っておもうこと

前常和北区長 春日幸彦



22年前の平成11年8月14日の再現が起きてしまいました。

当時は前日からそんなに強くはない雨が止むことなく降り続き、「お盆祭り」は早くに中止となりました。当時の故高橋武人区長さんが壮年ソフトの皆さんは公民館に詰めるよう要請し公民館に詰めました。すると道路より低い家から土のうの配置が要望され公民館の橋を渡ろうとしましたが、増水で渡れなく下方の橋を渡って土のうを積みに行きました。公民館の橋げたは鉄骨で幅が厚く田子川の断面を狭めていました。そのため濁流はそこで流れを遮られ左右にあふれ道路や宅地に流れ、アスファルト舗装道路は下流の採石が流され凸凹になり、上流からの岩や土砂は川の中を不気味な音を立てどンドン埋まり道路が川になりました。

令和元年10月12日台風19号も状況は同じと思いました。前回は床上浸水や床下浸水はあったと思いますが、今回はそれ以上の被害がありました。上水道の断水、下水道の破損、処理場の浸水、伝々橋上流の堤防の決壊、水田への土砂流入、道路の欠損、住宅近くの土砂崩れ、農地の崩落などです。上水道の断水のため下水道が使えなくなり、市からは簡易トイレを9基設置していただきました。佐久水道企業団から給水タンクを3か所に配備していただきました。電気は平賀や瀬戸地区で4日間停電したところがありましたが、常和区は停電はありませんでした。当区においては横山さん宅（旧農協跡）が令和元年8月に居住を始めたばかりの新築家屋が床上浸水し、取り壊しを余儀なくされ現在は更地になっています。また、鈴木利勝さん宅は公民館に避難し、住居は現在も被災したままの状態になっておりやむなく区外で生活をしています。

県の復旧計画は当初常和橋から上流に12号橋（黒岩至さん入り口）までの左岸に4m幅の管理用道路を新設する計画と聞いていましたが、その後変更が生じているようです。

常和は田子川やさんがり川とともに生きていかなければならないと思うので、できればその中だけに清流や台風などの濁流に流れてもらい、災害前に生存していた生き物がいつになったら戻ってくるのかと思っていたら、昨年6月に官舎の橋の下流でヤマメが泳いでいるのが見えたけど信じられませんでした。道路上では沢蟹が歩いていました。

区民の皆様ボランティア活動、他地域からのボランティアの皆さんの援助、先輩区長さん方のご指導、区民の皆様から食料の提供をしていただいたこと感謝しております。今後もどんな災害が起こるか想定しながら皆さんと一丸となって協力して前進していきたいと思っています。

常和の皆様へ

耕作放棄地のお花畑化プロジェクト推進協議会

代表理事 中村（鈴木）純（玉川大教授 & 常和区民）

白山神社の西側に**広大なヒマワリ畑**を計画中です。

10年以上耕作放棄され、ススキ原になっているところには、草丈1m内外で100輪以上の花を8月後半から3か月近く咲かせ続ける「分枝性の**サンフィニティ**」（FSブルーム）の苗**400株以上**を植えます。さらにその西側の休耕地には、緑肥用にも使われる1.5mの草丈で、「**頭花がひとつだけ咲くサンマリノ**」（雪印種苗）を種子として3kg、予想開花数で**30,000株分**を播種し、8月後半に2週間ほど開花させます。サンマリノは東向きに花を付けるので、集落からも現場の農道からも見事な景観となることでしょう。

今回のヒマワリ畑については、苗と種子を現在甲府市などで耕作放棄地を養蜂資源に転換する事業を展開している「耕作放棄地のお花畑化プロジェクト推進協議会」から提供させていただきます。

本協議会としては、ヒマワリをニホンミツバチなどの野生ハナバチ類の夏の餌資源として位置付けたいと考えています。

この夏「ハチも人も集うヒマワリ畑」にどうぞご期待ください！！

白山神社周辺の整備イメージ



花を咲かせるお手伝いをお願いします。

ご協力いただける方の参加を
お待ちしております！！

①草刈り作業

日時：令和3年6月20日（日）
午前 9:30～カヤ刈り、ため池周り刈払
耕耘（トラクター）、施肥
集合場所：上図の畑付近
持ち物：草刈り機、レーキ、鎌など

②苗植え（サンフィニティ）作業

日時：令和3年7月17日（土）
午前 9:30～ 苗植え（400株）
集合場所：上図の畑付近
持ち物：手袋、移植コテ

※①新型コロナウイルス感染防止対策のため マスク着用でご参加願います。

②駐車場は、白山神社付近をご利用願います。

災害復旧工事レポート

災害復旧チーム

佐久地域全体が大きな被害を受けた一昨年の台風からこの秋で2年。

Build Back Better（よりよい復興）を合言葉に、各地区で災害復旧工事が進められていますが、今現場の状況はどうなっているのでしょうか。

いくつかの現場を見てきましたので、様子をお伝えします。

田子川（常和区内）



田子川 砂防堰堤付近



伝々橋上流完成区画

最上流と最下流からそれぞれ工事が進められていますが、現場が狭く、カーブ区間も多いため工事業者の方々は苦労されているようです。この秋以降、橋の架け替えも進められる予定です。一日も早い完成を望んでいます。

千曲川（野沢地区）

野沢 中島公園付近



被災状況が大規模で緊急性も高いため、国土交通省によって工事が行われました。

大手建設会社も加わり24時間体制で進められた結果、堅固で安全な護岸が完成しました。

谷川（入沢地区）



集落上流の完成状況



集落内の工事状況

入沢では多くの橋が流失するなど常和同様大きな被害を受けました。たくさんの重機や作業員が投入され、急ピッチで工事が進められています。

佐久地域の災害復旧事業の状況は、県佐久建設事務所のホームページ（HP）で紹介されています。詳しくは同HP「令和元年東日本（台風第19号）の災害復旧に向けた取組み」をご覧ください。

事務局から

コロナ禍が収束せず、遠方の家族や友だちとなかなか会えない日々が続きます。ここ常和では、サクラソウとツツジの季節は過ぎましたが、今夏にたくさんのヒマワリを白山神社西側で咲かせようと取組みを始めました！
遠くの家族やみんなが、前を向いて少しでも明るく元気になれるようご協力をお願いいたします。



まちづくり協議会事務局 鈴木 正則（090-4741-3755）
水間 武樹（090-7702-9571）



まちづくりだよりVol. 9に寄せて

先日は白山神社周辺の整備事業が大勢の区民の皆さんの協力のもと行われました。

(6/20) カヤ刈り、ため池周辺の草刈り、サンマリノ種まき
その間に耕起(7/17) サンフィニティーの苗植えと2回にわたり
総勢100名弱の区民が白山神社周辺の整備事業に参加して頂きました。大変ご苦労様でした。



常和北区長
野澤 勇太郎

5月の下旬に常和在住の玉川大学農学部中村(鈴木)純教授が代表理事を務める
「耕作放棄地のお花畑化プロジェクト推進協議会」が協賛して頂けるという事で
ヒマワリ2品種を提供して頂くことが出来ました。推進協議会のご協力に感謝申し上げます。

前回のVol.8で作業のお手伝いをお願いしてから約1か月の間に草刈り、耕起、ヒマワリの苗植えまで終了しました。常和区の結束力の強さを改めて感じます。

また当日は佐久建設事務所の皆さんにもお手伝い頂き、ありがとうございました。

今後ですが現在常和区では第2日曜の朝、田子川の環境美化活動を行っておりますが、復興工事が始まると作業が出来なくなります。来年からは、山田ツツジ園・白山神社周辺の環境美化活動に変更していきたいと思いますがどうでしょうか。

遊歩道の整備・ため池周辺の憩いの場整備、中村(鈴木)純 教授のご協力のもと環境学習会・ニホンミツバチの勉強会等々計画出来ればと思います。

県や市には「やる気のある地区」(団体)に補助金を出すシステムが沢山あります。それら活用しながら常和をもっと元気にして行ければと思います。

8月上旬のヒマワリ畑の様子



公園環境チーム 活動こよみ

3月

レタスの植付け



4月

緑化木の植樹

サクラソウ群生地の草刈り



5月

山田つつじ園つつじ祭り

サクラソウ群生地 花盛り



6月

憩いの場～ひまわり畑の草刈り
つつじ園整備～剪定、除草、移植



7月

ひまわり畑の整地～苗の移植



8月 ・ひまわり開花 ・自然環境勉強会 ・復興大根の種蒔き

9月 ・つつじ園整備

10月 ・自然環境講演会

こんな活動をしています。今後も活動の幅を拡げて行きたいと思いますので、
面白い企画やアイデアなどがありましたら教えて下さい!!

大勢の皆様のご協力とご参加をお待ちしています!!

防災チームから

あなたは「いざという時」 心の中の**避難スイッチ**を押せますか？



「そんなことが起こるはずがない」
と思い込む（正常性バイアス）

「近所の人も避難していないから大丈夫」
と思い込む（多数派同調バイアス）

※2つのバイアス（思い込み）のために、多くの方が犠牲になった例が世界各地にあります。

災害を過小評価せず、早目の行動が自分や家族の命を守ります

「いざという時」どこに避難するか 決めていますか？

安全な近所・親戚・知人宅

普段から避難先に相談
しておきましょう。

自宅

自宅が安全とは限りません！！
防災マップを必ず確認しましょう。

分散型の
避難行動

一時避難所

サイバネさん、バイタルさん
（常和区と協定締結）

指定避難所

城山小、中込中
（※緊急の場合）
城山保育園、児童館、中央隣保館

お知らせ

9/5(日)は、区の**防災訓練**です。

今年の訓練のテーマは、「**高齢者等避難**」です。

自力で避難できない方々を家族や近所で支えあって助ける体制を作りま
しょう。訓練の詳細については、後日連絡します。

※先日各戸配布した「**地区防災マニュアル**」と
昨年配布した「**常和区防災マップ**」を一度お目通し願います。

今回の体験談は、当時の南区長の田井秀明さんです。
刻一刻と変わる生々しい状況を語っていただきました。

令和元年台風19号を振り返っておもうこと

「自分の命は 自分で守る」

前常和南区長 田井秀明



令和元年10月12日朝、台風の接近に不安を
感じながら動め先に向かいました。

9時頃、介護施設の利用者様を迎えに内山相立
へ行き、内山川に目を向けると氾濫寸前でした。
もしや常和の川も？と思い、春日区長に電話を
して状況を伝えました。

午後2時過ぎに総代5名と班長が公民館に集合
して川沿いの家に避難を呼びかけました。3時過ぎには常和橋は水を被り、田子
川は氾濫し非常に危険な状況でした。

夜になり公民館から外を見ると、すぐそこまで濁流が押し寄せ、家の中の物
が流されていくのを目の当たりにして恐ろしさを実感しました。

夜7時頃佐久水道から73戸が断水になり給水所を設置するとの話でした。

翌13日早朝より被害調査を始めたところ、道路はズタズタに壊れ川から溢れ
た水で境がわからなくなっていました。床上浸水13軒、床下浸水28軒に及びま
した。幸いにも区民全員が無事であった事に安堵致しました。

復興の工事も進んでおります。災害はいつ、どこで起こるかわかりません。
自分の命は、自分で守る！を常に意識していく事と思います。

事務局から



多くの皆様のご協力をいただいて植えたヒマワリが開花を迎えました。
子供のころから、ヒマワリはその名のとおり太陽の動きにつれて花が回るもの
と思っていましたが、植えたヒマワリたちはずっと東を向いたまです。
自宅の庭のヒマワリはあっちこっち好き勝手な方向を向いています。
ヒマワリにもいろいろな個性があるようですが、真相は・・・調べてみてください。

今年も静かなお盆になりそうですが、遠くの家族やみんなが、前を向いて少しでも
明るく元気になれるよう引き続きご協力をお願いいたします。

まちづくり協議会事務局 鈴木 正則 (090-4741-3755)
水間 武樹 (090-7702-9571)

常和復興

まちづくりだより

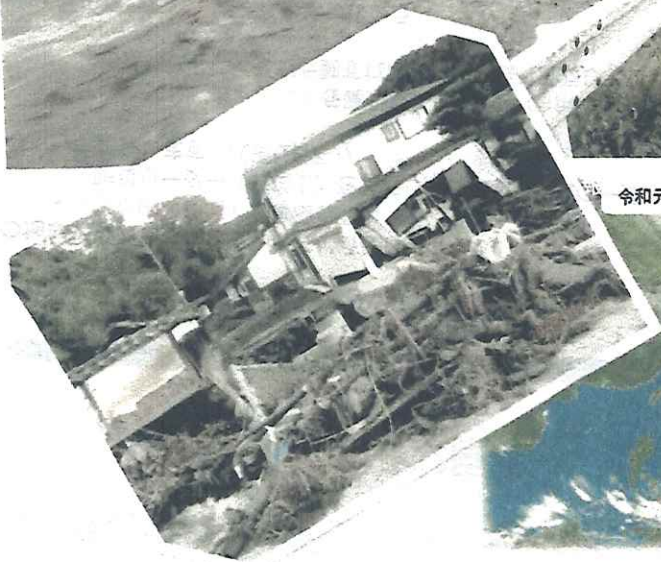
令和3年9月30日
Vol. 10

編集発行／常和復興まちづくり協議会
【発行責任者】鈴木双一郎

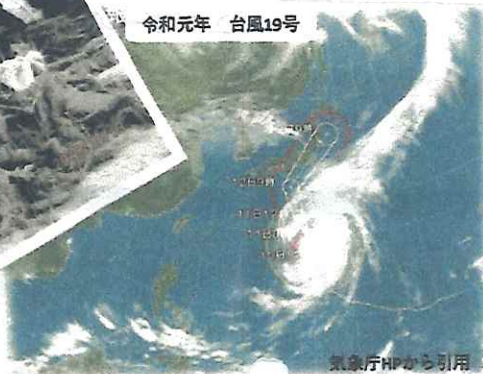
長野県地域元気づくり支援金事業
佐久市まちづくり活動支援金事業

防災・減災特集

～ あれから2年 ～



令和元年 台風19号



気象庁HPから引用

災害はいつどこで起きるかわかりません。

県内でも大規模な災害が頻発しています！



近年、地球温暖化の影響か、世界各地で大規模な災害が頻発しています。

長野県内においても、諏訪地域で8月、9月と立て続けに大きな災害が発生しました。

お亡くなりになられた方々には心からご冥福をお祈りいたします。

①岡谷市の災害では、不幸にも親子3名が土石流に巻き込まれて亡くなりました。

土石流発生時に市からの避難指示は出ていませんでしたが、その時間帯にはすでに現場付近では累計370mm以上の雨が降っていました。

②茅野市の災害では、土砂流出の規模は岡谷より大きかったものの、けが人は出ませんでした。

地区役員や消防団、警察などの呼びかけが功を奏したとのことですが、一步遅れば・・・

災害から教訓を得て、自分たちの防災・減災活動に活かしていくことは非常に重要です。

常和区では、一昨年の台風災害の経験を踏まえて、早め早めに余裕をもって避難できるように「自主避難ルール」を作って、防災マップと共に各戸に配布しています。

この機会にあらためてご確認をお願いいたします。

常和区自主避難ルール

2つの気象データの数値に
特に注意！！

- ・上流（内山初谷）の雨量
 - ・田子川の水位
- （詳しくは防災マップ裏面を参照）

まちづくり協議会 防災チームから

コロナ禍の影響で、今年は防災訓練が中止になりました。

とかく防災訓練は形だけでマンネリ化してしまうこともあります、実際に役立つ訓練を毎年繰り返していくことが大切だと思っています。

引き続き皆様方のご協力をお願いいたします。



まちづくり協議会防災チーム

チームリーダー（防災士）野澤 泉

事務局（防災士）水間 武樹（090-7702-9571）

災害は忘れる間もなくやってくる！

「逃げ遅れゼロ」のために

自分たちの命は自分たちで守る！！

○地域防災力を強化して、いざという時に備える！

- ・「自主防災組織」の体制を強化
防災リーダー（防災士）を育成し、自主防災組織の一員として活動します。（現在6名）
- ・「防災活動マニュアル」を確認しましょう。（今年全戸配布）
災害時にどうやって行動すればよいが家族で確認しましょう。
- ・日頃から**防災意識**を高めましょう。
 - ・専門家を招いての防災・減災勉強会への参加
 - ・水のう・土のうを作成する講習会への参加
 - ・防災訓練への参加

さくの絆作戦

（さ）災害に備え （く）区と消防団



市・県の専門家を招いて
防災・減災勉強会



区と消防団が協力して「防災マップづくり」や「水のう・土のう勉強会」



どこが危ないのか知っておく！！

○常和区防災マップを見て、自分の家の周りや近所のどこが危ないのか日頃から知っておきましょう！

河川が氾濫した場所や土砂災害警戒区域などの
危険箇所を地図に書き込んであります。（昨年全戸配布）



常和区防災マップ



今年のお盆の大雨後
土砂災害特別警戒区域内で落石があり、
家屋が損壊しました。

令和元年東日本台風（台風第19号）では、観測史上最大の大雨を記録し、田子川やサンガリ川の氾濫や土砂災害等が発生し、住宅、山、山林などが大きな被害を受けました。
水害や土砂災害は、適切に避難をすれば人的被害を最小限に抑えることができます。

災害からの逃げ遅れを出さないためには、区民の一人一人が「**自らの命は自らが守る**」意識を持って、行政からの避難情報などに頼り過ぎず、自らの判断で避難行動を取る必要があります。

リアルタイムで情報を知る・伝える！！

○最新の**気象情報**をテレビ、ラジオ、インターネットなどで収集し、家族や近所にも伝えて
明るい時間帯に避難できるように備えましょう！

インターネットでは、「NHK防災アプリ」「気象庁」「佐久市」などの関係機関の他、
「**長野県**」のホームページから以下の気象情報が確認できます。

付近の雨量

「長野県河川砂防情報ステーション」
で検索

河川砂防情報ステーション
長野県河川砂防情報ステーションは、河川砂防情報ステーションで検索できます。

スマートフォン版 河川砂防情報ステーション
スマートフォン版 河川砂防情報ステーションは、河川砂防情報ステーションで検索できます。
<http://www.sdpic.nagano.jp/cor/>

携帯版 河川砂防情報ステーション
携帯版 河川砂防情報ステーションは、河川砂防情報ステーションで検索できます。
<http://www.sdpic.nagano.jp/cor/>

田子川の水位

「川の水位情報」で検索

水位標

「常和橋下」

ため池の水位

「長野県ため池監視」

「山田」と「常和上池」

いざという時、助け合って逃げる！！

○台風19号災害のデータをもとに、上流の雨量と河川の水位
によって避難の目安（**自主避難ルール**）を定めました。

○高齢者など手助けが必要な方（**要援護者**）は、家族や
近所で助け合って、余裕をもって避難をしましょう。

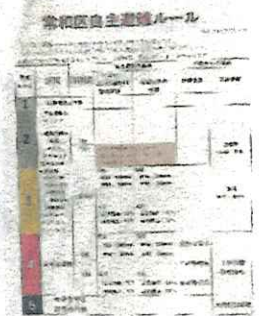
○避難所の過密対策として、**分散避難**するために近隣2企業
の協力をいただき、**一時避難所に関する協定**を締結しました。

髙見沢サイバネティクス様

髙バイタル様



近隣企業と「一時避難所」の協定締結





災害復旧事業の近況をお伝えします。

コロナ禍の影響により災害復旧・復興事業に関する県・市との情報交換や意見調整など、まちづくり協議会の活動がなかなかできない状況が続いていました。

工事の進捗状況や今後の見通しなどの情報も入ってこない中、多くの皆様から「用地交渉は一体いつになったら始まるのか?」とか「工事が全然進んでいない!」などの厳しい声が聞こえてきましたが、第5波がほぼ終息したため協議会の活動を再開し、地元の声を関係者に届けるとともに、工事関係の情報をできるだけきめ細かく皆様にお届けしていきます。

○災害復旧工事の状況説明会に出席しました。(10月6日(水)14:00~)

田子川の工事進捗状況などについて県・市から説明がありました。概要は以下のとおりです。
詳細は、当日の説明資料(工程表など)を別途回覧してありますのでご覧ください。

◆田子川

〈用地交渉〉地権者57名のうち契約済は32名(10/5現在57%)。引き続き交渉を進める。
〈今年度工事発注〉田子川(140m:大橋付近~常和橋付近)と南沢(190m)
〈北ため池横の橋の復旧〉11月から着手し、3月末までに完了。
〈橋の架け替えに伴う迂回路計画〉今後地元と十分協議

◆さんがり川

〈ため池横の4工区〉11月半ば頃までに完了。その後3工区に着手し、3月末までに完了。

※回覧だけではわからない点もあるので、11月末までに区民全体への説明会が行われる予定です。
多くの皆様のご出席をお願いします。

○常和地区「災害防止協議会」が開催されました。

日 時: 10月6日(水)13:30~ 第3回協議会

協議会の目的: 工事に伴う交通安全の確保や進捗状況等に関する情報共有

出席者: 行政) 県佐久建設事務所、市関係課(道路建設課、耕林地務課など)
受注者) 高重建設工業、大進建設、光和建設、木下組、須江建設工業
地 元) まち協役員(両区長、災害復旧チームリーダーほか)

打合せ結果

・今後この会を定期的(毎月第1水曜)に開催し、情報共有などを図る。

・地元からの意見・要望

きめ細かな情報提供や迅速な道路補修などをお願いしたい。

トラックとのすれ違いができない場所(第8実行班付近)に待避所を設置してほしい。

引き続き工事車両の低速走行が守られるよう徹底願いたい。

今回の体験談は、長年にわたり区の民生児童委員として高齢者や子供たちをはじめ区民みんなのために頑張っていたいただいた黒岩せつ子さんです。

体験談 台風19号災害を経験して

前常和区 民生児童委員 黒岩せつ子

「こんな大雨初めてだわ、災害が来るなんて思っても
みなかったよ!」80代男性。

「まさかこんな川が氾濫するとはね。」70代女性。

ある日突然被災するとは誰も思っていませんでした。

10月12日pm2:30自主避難放送がある。

自身と家族の安全を確認して、一人暮らし高齢者宅に向かう。当時31世帯中25世帯は近くに家族がいたり世帯分離だったりする。土曜日で3世帯は子どもさんが来るのがわかった。避難世帯・・・常和公民館に3世帯、佐久城山小学校に8世帯。近隣住民の助け合いによるものです。

一夜明けると常和は様変わりしていた。足が止まって動けない。それでも一人暮らし高齢者全員の無事を確認出来た時は涙が出るほどうれしかった。

一人暮らし高齢者断水世帯に水を運んだり、寝具の必要な世帯に聞き取りをする。

社協・市役所・ボランティアの応援、支援物資の手配などや、小学生の登校見守りも手伝った。床上浸水で引越が必要となったお宅の緊急連絡通報機の取り外しの立ち合いをした時はとても切なかった。

しかし、大勢の区民ボランティアが立ち上がり災害廃棄物の搬出・運搬等を共にして心強かったです。

《活動から見たこと!!》

※災害時に円滑な対応を行うためには、平常時の地域の関係機関等との連携、地域ぐるみの取り組みが重要だと痛感した。

※支え合いマップは、平常時は個人情報保護のため一人暮らし高齢者・高齢者だけの世帯・気になる高齢者などシール分けでわかりにくく活用しにくかった。
民児協・民生委員会で再検討中。要援護者の情報把握や共有を進めることが大事だと感じた。

※区民ボランティアは思いのほか多く集まり地域力を感じた。住民相互のつながりを強めることは防災力を高めるとともに地域の持つ力を高める極めて大きな意味があると思う。

※息の長い支援活動を続けていくためには何をすべきか、また、何ができるか冷静に考えることが必要だと思った。

これからの区の防災・支え合い活動を進めていく上でたいへん貴重なご提言をいただき、ありがとうございました。

まちづくり協議会では、当時の状況や体験などを記録に残して後世に伝えようと考えています。



トピックス

まちづくりだよりでは、災害関係以外の話題も随時届けていきたいと思います。

今回は、山田神社について土屋静之さんに調べて頂きました。

山田神社の謂れと歴史

2の鳥居と楼門をくぐり、階段を上がると境内、正面に本殿、西側に神楽殿、東側に舞台、北側に参籠殿と社務所があり、本殿の外観は善光寺（国宝）と同じ撞木造りで木材は殆ど櫛を使用し、外観の至る所に龍などの架空動物の彫刻を施している。



消防団による正月の本殿への放水風景

私の父親の話によると、ご神体は畳二畳ほどの大きさの青白く光った牛が寝ている様な形でこの近辺にはない石との事で、本殿内部は御神体の占める割合が大半の様です。

神楽殿は廻り舞台になっており、右側に太夫座があり、左には仮設の花道が取り付くようになっている。

現在の本殿は、白田、中小田切出身の宮大工 清水惣兵衛の系統4代目晋作によって明治20年（1887）に再建された。近隣の市町村にも数多くの神社が存在するが、山田神社ほど素晴らしい建造物は数少ないと思われる。

神社の歴史は古く、文献によると古くは宗像明神とか、蛇石明神等と呼ばれていて、宗像大明神略記によると建久8年（1190）2月に將軍に建上、鎌倉時代の嘉定2年（1235）の諏訪守矢文書に「佐久山田郷の神事」が載っているほか、延文3年（1358）にできた「諏訪大明神絵詞」にも「2月15日佐久山田神事例式たるべし」とある。

これは古来から諏訪上社の神領であり、山田郷から御射山頭役、鳥居建造、その他の勤仕をしていて、山田神社と諏訪上社とは古くからきわめて深い関係があったとされている。

また、福岡県宗像郡に惣本社、宗像神社の古い神領として山田郷（吉田東伍、大日本地名辞書）があるので、これを勘案すると九州の宗像神社と宗像明神と称された山田神社との間にも深い関係があったと考えられる。

山田神社は、近世には山田蛇石明神と称し、明治19年に宗像山田神社、同36年に山田神社と改称した。

神社の祭神は、市杵島姫命、田心姫命、端津姫命三神と健甕名命ならびにその御子神と言う事になっており、現在は神紋に梶の葉を用いている。

山田神社は、一般的には「蛇石様」とか「へーびさん」と呼ばれ、礼祭は春、秋2回実施、戦前までは神楽や相撲を奉納し、近隣の町村からの参拝者も多く、露店も出て大変賑わった。

《佐久市景観重要建造物第1号に指定》

本殿の撞木造りと外観及び楼門が里山の樹木と一体になって周囲の石碑などと共に良好な景観を形成している事で平成24年9月3日に指定される。



公園環境チームの活動

公園環境チームは、コロナ禍の中で制約を受けながら春から活動をして来ました。

今年は、ツツジ園とサクラソウ群生地他に北にも名所を作ろうと白山神社西側の耕作放棄地をヒマワリ畑にしてサンマリノ3万余株とサンフィニティ500余株を多くの皆さんの協力を得て咲かせ、長期間にわたり皆さんに楽しんで頂き、終わりを迎えようとしています。

今後は段階的に「憩いの場」を整備して行くとともにツツジ園の拡張とサクラソウ群生地の復活活動しながら常和を花いっぱいに行きたいと思っています。ご家庭より提供のあった水仙の球根（約800個）も先日植付けました。この様に提供しても良い草花（アヤメ、ダリア、カンナ、コスモスなど）が有りましたら連絡をお願いします。

また、コロナで休止していました自然環境勉強会も計画して行きたいと思っています。



★今後の活動として

11月7日（日） 9時～ ツツジ園の移植拡大（50株程度）

11月14日（日） 10時～ 復興大根収穫祭（5千本）

★コロナが落ち着いたところで

12月：自然環境勉強会（玉川大学 中村教授）

憩いの場の整備計画の策定（別途連絡）

多くの皆様のご協力とご参加を宜しくお願い致します。

事務局から



今年は多くの人を集めるイベントは出来ず、まち協で計画していたいくつかの行事も中止になり、せつかつのヒマワリ畑もやや寂しげでした。
復興大根収穫祭、元気出して盛大にやりましょう！！

まちづくり協議会事務局

鈴木 正則 (090-4741-3755)

水間 武樹 (090-7702-9571)

常和復興

まちづくりだより



編集発行／常和復興まちづくり協議会
【発行責任者】鈴木双一郎

令和3年12月25日
Vol. 12

長野県地域発元気づくり支援金事業
佐久市まちづくり活動支援金事業

皆様のご協力により 常和区の復興まちづくり事業が 「地域発 元気づくり大賞」を受賞しました。

昨年度から取組んできた常和区の復興まちづくり事業が県から表彰されました。
市のまちづくり活動支援金最優秀賞に続くダブル受賞で、当区にとってたいへん嬉しい出来事です。
この賞は、令和2年度に県下359箇所で開催された「長野県地域発元気づくり支援金事業」のうち、
魅力ある地域づくりに特に貢献した事業に贈られるものです。

先日12月17日に佐久合同庁舎で行われた表彰式に、両区長はじめ関係者が出席して知事表彰状と
大賞盾をいただきました。また、事例発表を行い、昨年度に行った事業の紹介も行いました。

たいへん栄誉ある賞をいただきましたが、まだ私たちの事業は途半ばで、今後この取組みをさらに進め
ていくことが大切だと感じています。引き続き皆様方のご協力をお願いします。

【選定のポイント】・・・県ホームページから

地域住民が主体となった避難体制の強化や、復興状況の区民への周知、復興拠点の整備による新
たな交流の創出等、地域防災力の向上、地域コミュニティの再生を図った。

今後も自主防災組織の強化や災害状況の後世への伝承、他地域と連携を図る取組が期待される。



今回の体験談は、台風19号災害で田子川の氾濫により、この地に思いを残しつつも
常和を離れて新しい地で、新しい生活をご家族の皆さんで始めるにあたり、その思い
を語ってくださった鈴木昌子さんです。

「これだけの事があれば幸せ」

19号台風から2年経ち、あの頃の記憶が
だんだん薄くなってしまいうけど、今振り返ると
いろんなことを思い出します。

10月12日夕方、公民館役員さんから「早く
城山小学校へ避難してください」と声がかかり、
息子に「婆さん、早く車に乗りな。小学校まで
送るから」と言われたけど、私は家をしっかり
見たいとの意地があり「行かない。婆さんは家が
心配だから行かないよ」と言っている時、区の役員さん達が公民館の鍵を開けたので公
民館へ避難しました。おかげで川の水が家の庭まで流れて来るのをしっかり見るこ
とができ、そして見ている間に庭は川になってしまいました。

土蔵の前に置いてあったバイク、自転車など流され、家の中は暗くて懐中電灯を照
らしても見えない。時間が経つにつれて公民館の庭まで川になってしまい、もう前
にも後ろにも行けない状態でした。

翌朝明るくなり家の中の様子を直ぐに見ることが出来てよかったです。ここにいた
からそのあとの事がすぐに動けたのは公民館にいられたおかげ。

公民館を開けて避難させてもらったのは有難かったです。そして、家の片づけ等に
多くの区民の皆様とボランティアの皆様が来ていただき、本当にありがとうございました。
区民の皆さんには本当に感謝しています。

みんな流されてしまい切なかったけど、やるしかないんで、後ろを向かないで明る
くやりました。泣いていてもそれまでだし。

ただ一つ残念だったことは、もう年でお父さんとの結婚式の写真が懐かしいと思い、
久しぶりに見ようと土蔵の二階から写真を降ろしてきて枕元に置いて見ていた、それ
らがみんな全部流されてしまい、それだけは本当に切なかった。

でも嬉しいこともありました。「写真、流れて来たから拾ってきたよ」って、仲間
と撮った写真を常和橋近くで見つけてくれた方が、泥の写真を綺麗に洗って届けてく
れました。それも1回じゃなく2回も3回も。「またあったよ」って。うれしくてね。
本当にうれしかったです。



鈴木 昌子

今の生活は岩村田の花園団地に住んでいますが、いつも常和の家と区民の皆様を思い出します。畑があるから夏は常和に来るけど、冬はそれがないから寂しいです。

それで冬場は足が弱れば困るから岩村田の街なかをお父さんと二人で散歩しています。むこうに行って顔見知りになった方々と挨拶したり楽しくおしゃべりしたりしています。

常和を離れていますが復興大根の収穫祭の時は声をかけていただきありがとうございました。2年連続で参加して役員の皆様と温かい豚汁やふろふき大根を食べながら、いろいろな話をしながら過ごし楽しく良い思い出になりました。

常和でこれからの生活もと考えましたが、2度あることは3度あるという言葉もあり不安があるから、岩村田よりもっと常和から遠く離れる淋しさはありますが、縁あって来年の9月に小諸に家を買って引っ越します。孫もこの7月に結婚して私達が住む家の近くに家を建て、小諸の街中の便利な場所で家族みんなで新しい生活を始めます。

台風でこんな災害にあっても、なんでこんなに運がついているんだろう！これだけの事があれば幸せ！と、物事はいいように取らなくてはと思うようにしています。逆にとれば落ち込んでしまうから、いつも自分の心の中でそう思って暮らしています。常和の皆様、これからも、これまでのように、よろしくお願いします。

災害復旧工事の説明会がありました。

コロナ禍の影響により開催できなかった災害復旧工事の説明会が先日行われました。

当日は総数70名を超える区民が参加し、現在の状況や今後の工事予定などについて説明を受け、県市の担当者と直接意見交換できる貴重な場となりました。

今後集落内の工事が本格化すると、長期間橋が通行止めとなり、迂回路も必要となることから適切なタイミングできめ細かい情報を提供してもらうことが必要と思います。

○主な説明内容（※10月に回覧した内容とほぼ同じです。）

◆田子川

- 〈工事〉①現在～令和5年度末までの工事計画・・・工事区間と時期を図面に表示
②橋の架け替え時期、迂回路のルート

◆さんがり川

- 〈4工区〉ため池横・・・完了
〈3工区〉第1実行班付近・・・12月から着手し、3月末までに完了。

※当日の説明図面は、公民館に置いてあります。当日出席できなかった方や、わからない点がある方はご覧ください。（まち協役員でも分かる範囲内でお答えします。）

公園環境チーム 秋の活動

11/7 山田つじ園のツツジの植え替え

当日は25名程が集まり（アベニューからも3名の応援）約80本のツツジを植え替えました。



11/14 第二回復興大根収穫祭

良く晴れた秋空の下で今年も収穫祭を開催しました。冒頭、柳田市長より佐久市まちづくり活動支援金の「最優秀賞」が両区長に改めて手渡され、今年は5000本の大根を約180人の来場者が楽しんで収穫していました。

アベニューからも参加して頂き、大根料理も大好評で"心ひとつに"なった一日でした。



残った葉はスエトシ牧場へ
来年度堆肥を頂きます

11/21 新たな展開・・・憩いの場作り・お花畑

当日は地権者8名に集まって頂き、憩いの場作りの下見をしました。具体的な計画作りは来年になりますが期待度大です。皆さんのご協力で多くの花を咲かせましょう!!



12/19 自然環境学習会「お花畑で常和の何が変わるか?」

コロナ禍で延び延びになっていました学習会を開催しました。27名が参加され、地域の身近な話題で新たな花や昆虫の見方を学び、来春の農作物・花づくりに大変参考になりました。



事務局から

今年も残すところ数日。コロナ禍でみなさんそれぞれ大変な一年だったかと思いますが、今年一年の皆様方のご協力にあらためて感謝いたします。来年の干支は壬寅。厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となる年と言われています。



ガオッ!

新しい一年、元気で迎えましょう!!

まちづくり協議会事務局

鈴木 正則 (090-4741-3755)

水間 武樹 (090-7702-9571)

常和を元気にする復興まちづくり事業

佐久市常和区

事業実施図

台風19号災害 被災直後の状況

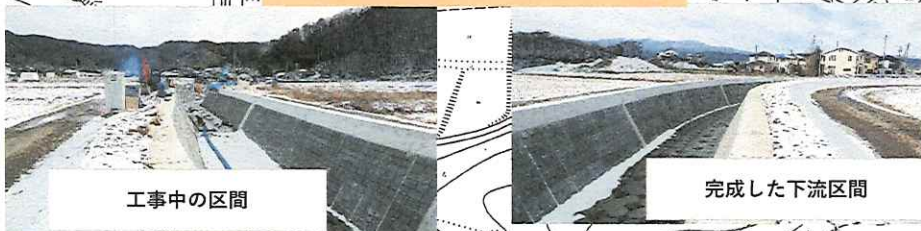


R3年度の取組みの様子



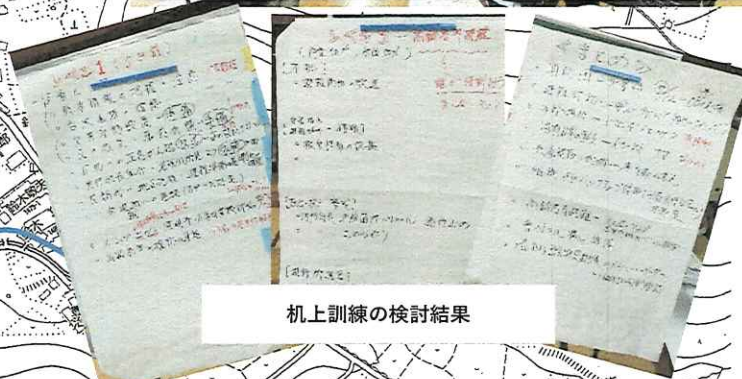
消防団との協働による防災行動マニュアル作成 (R3.6)

復旧状況 (R3.12末現在)



工事中の区間

完成した下流区間



机上訓練の検討結果

常和を元気にする復興まちづくり事業

活動内容	R3年度の主な実施内容
・広報活動	まちづくりだよりの発行：6回
・災害伝承活動	復興誌の編集に係るデータ蓄積
・避難体制の強化	防災行動マニュアルの作成
・復興拠点の整備	つつじ公園・サクラソウ群生地整備
・環境勉強会の開催	勉強会開催：1回（中村教授）



イベント開催（復興大根収穫祭）

つつじ公園

さんがり川

常和

公民館

観音寺

常和南